

社会への発信

シンポジウム「機械学習とデータマイニングの最前線 ～500 人大集会：そのツールと応用～」の開催とその後の展開

The Frontier of Machine Learning and Data Mining 500 Members Meeting

1 データ分析と技術士の関わり

「技術士」は、「技術士法に登録を受け、技術士の名称を用いて、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価またはこれらに関する指導の業務を行う者をいう」と定義されており、その基盤は科学技術にあり、技術士として常に先端の分析 (Analysis)、設計 (Design)、評価 (Evaluation)、試験 (Testing)、研究 (Research) などの技術のフォローアップの重要性は今更言うまでもないことである。しかし、近年の IT 技術とネットワーク技術の発展に伴うデータ生産とデータトラフィックの増大により、データ処理、データ分析技術の重要性がますます認識されつつある。このようなデータ分析のトレンドをフォローするために、登録グループ「データサイエンス研究会」(本登録グループ) が日本技術士会で設置されており、地道ながら勉強会などを断続的に実施している¹⁾。

2 「機械学習とデータマイニングの最前線 ～500 人大集会」の開催

本登録グループが主催として関与するシンポジウムとして 2016 年 2 月 4 日 (木) に「ビッグデータ：機械学習とデータマイニングの最前線～500 人大集会：そのツールと応用～」を学術総合センター 一橋記念講堂で開催した。本登録グループは、2003 年に設置された日本技術士会プロジェクトチーム「データマイニングリサーチフォーラム」を前身とする。その後、さまざまな変遷を経て現在に至るが、登録グループとして規模も大きくなく、定期的に行事を開催するような活動はできていない。しかし、単発的に技術士 CPD 中央講座を企画したり (第 119 回技術士

CPD 中央講座「ビッグデータと統計科学の実践的利活用事例」など)²⁾、今回のように外部のイベント開催と共同したり、あるいは、技術図書を共同出版したりして、活動を行っている。

今回、情報処理学会のイベントであるソフトウェアジャパン 2016¹⁾ 中の IT フォーラム「ビッグデータ活用実務フォーラム」セッション³⁾ として、企画・実行したシンポジウムが「ビッグデータ：機械学習とデータマイニングの最前線～500 人大集会：そのツールと応用～」である。本登録グループの代表を務める石井が、若手のエンジニアに講演を依頼し、日本技術士会やデータサイエンティスト協会などの賛助協力を得て、本登録グループのシンポジウムと位置づけ CPD 行事として実施した。

3 シンポジウムの内容

シンポジウムの内容は若手エンジニア 5 名による講演と、パネルディスカッションである。概要は、ウェブ上にも紹介されており、現在ニコニコ動画でも閲覧できる⁴⁾ ので、講演タイトルのみ以下に紹介する。

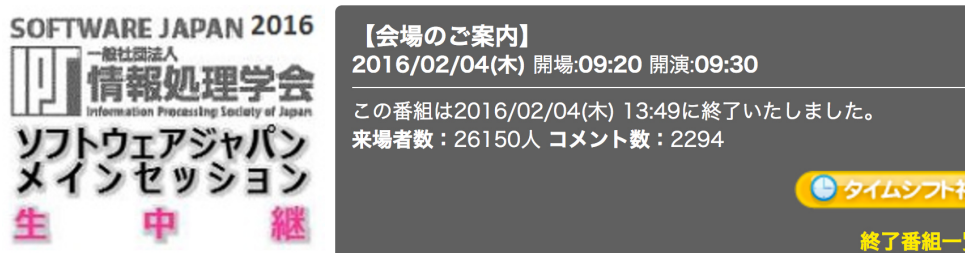
講演 (1)：里 洋平 (DATUM STUDIO) 「R による機械学習およびデータマイニングの最前線」

講演 (2)：高柳慎一 (リクルート) 「CET (Capture



写真 1 シンポジウムパネルディスカッション

ソフトウェアジャパン2016 人工知能が2020年を変える セッション生中継



【会場のご案内】
2016/02/04(木) 開場:09:20 開演:09:30

この番組は2016/02/04(木) 13:49に終了いたしました。
来場者数：26150人 コメント数：2294

タイムシフト中
終了番組一覧

図1 ニコニコ動画生放送で1日に25000人を超える視聴を達成

EveryThing) プロジェクトにおける機械学習・データマイニング最前線」

講演 (3) : 加藤公一 (シルバーエッグ・テクノロジー) 「Python による機械学習の最前線」

講演 (4) : 神成淳司 (慶應義塾大学) 「医療・農業における事例」

講演 (5) : 石井一夫 (東京農工大学) 「スパコンを用いた数理モデリングと予測分析」

最後に、統計数理研究所教授で、データサイエンティスト協会理事の丸山宏氏を司会に、「パネル討論：機械学習とデータマイニングの最前線と人工知能への応用展開」ということで、最新の機械学習とデータマイニング技術とその活用について議論した。

4 情報発信へのいろいろな試み

本イベントは、情報処理学会との共催で企画したが、日本技術士会をはじめ日本統計学会など多くの団体の協賛を得て、多くの聴衆を集めた。事前申し込みは530人となり、会場は立ち見が出る盛況となった。また、本セッションはニコニコ生放送でウェブ上に生中継され、その視聴はその日1日で25000ビューを超えた(図1)。このイベントに参加いただいた大学研究機関の某教授からは以下のようなコメントをいただいた。

>一橋講堂に立ち見ができるのは、久しぶりに見ました。

>以前、CMUの金出先生が来た時以来かもしれません。

このイベント全体としても過去最高の記録的な参加者数(842名)を達成した。

5 まとめ

本記事の掲載時には、次のイベントであるソフトウェアジャパン2017「データとAIが創り出す新たな価値」が終了していると思われる。次回は、「世界を変えよう!レジェンドを残そう!マシンラーニングのら猫勉強会 in 一橋記念講堂2017」を企画しており、障害者向け視聴サービスの情報保障などいろいろな新たな試みを予定している。今回のイベントのように後々記憶に残り、語り継がれるような新たなレジェンドを刻むことになるとと思われる。データサイエンスの新たな飛躍とそのフォローアップの充実を期待する。

<参考資料>

- 1) マシンラーニングのら猫勉強会,
<https://machinelearning.doorkeeper.jp>
- 2) ソフトウェアジャパン2016,
<http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2016/>
- 3) ビッグデータ活用実務フォーラム - 情報処理学会ソフトウェアジャパン2016, http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2016/IT-F_bigdata.html
- 4) 情報処理学会チャンネル - ニコニコチャンネル: 社会・言論, <http://ch.nicovideo.jp/ipsj>

石井 一夫 (いしい かずお)
技術士 (生物工学部門)

東京農工大学特任教授
登録グループ「データサイエンス研究会」代表者
e-mail : kazuoisshii2014@gmail.com

